

コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q1 コミュニティ・スクールにするねらいは何ですか？

学校と地域が連携・協働し、当事者意識を持って子供たちの成長を支えていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

Q2 どんな仕組みで、何をやるのですか？

地域住民や保護者が、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。コミュニティ・スクールに指定された学校には「コミュニティ・スクール協議会」が設置され、教育委員会から任命された委員が、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりします。

Q3 教職員の任用に関する意見にはどのようなものがありますか？

学校の抱える課題解決のために必要な校内体制の充実を望む意見など、校長のビジョンを後押しする意見が述べられています。

コミュニティ・スクールの推進するための取組

● 土曜日を活用した教育活動 ～保護者や地域の皆さんが参加しやすい教育活動を実施します～

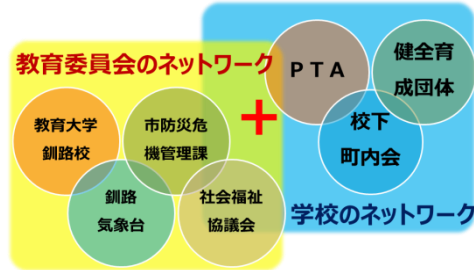
平成26年度の2学期から各学期に1～2回、子供たちの代休日を設けない土曜日（半日）の教育活動を行っています。平成27年度からは、小学校と中学校でそれぞれ一斉実施日を設け、年4回実施しています。

- * 学芸会、文化祭、避難訓練などの学校行事
- * 参観日、地域公開日などの公開授業
- * 地域の人材を活用した総合的な学習の時間
- * 補充学習、体力向上のためのスポーツ活動 など

● 防災教育の推進 ～学校・家庭・地域の共通課題である防災教育を支援する取組です～

学校で実施する避難訓練の際に、防災に関する体験的な学習の実施を支援しています。

「防災」という学校・地域共通のテーマのもとに、地域住民の協力を得ながら効果的な学習を実施し、取組を通じて教育委員会のネットワークと学校のネットワークの結びつきが見られています。



津波発生装置による体験学習

● 地域とともに子どもを育む学校づくり推進事業 ～学校と地域の連携を応援する補助制度です～

地域の方に協力をいただきながら、児童生徒が楽しく学ぶことができる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校、地域の中心となる学校を目指す取組を行う学校に対して、その活動に必要な費用を支出します。

【平成28年度活用校22校のうち、コミュニティ・スクール関係校分】

釧路小学校 コミュニティ・スクール協議会との連携 交付額 20,000円	中央小学校 読み聞かせの会「くまの学校」との連携 交付額 30,000円	鳥取小学校 地域の伝統を受け継ぎ、地域を愛する子どもの育成 交付額 30,000円	共栄小学校 共栄小学校区子ども達を育てる会、PTAとの連携 交付額 24,000円	大楽毛小学校 大楽毛小学校おはなし会との連携 交付額 30,000円	阿寒湖小学校 前田一歩園財団、漁協、温泉組合、アイヌ民族文化保存会との連携 交付額 30,000円	共栄中学校 市内各事業所、町内会との連携 交付額 30,000円	阿寒湖中学校 アイヌ民族文化保存会、民芸品店との連携 交付額 40,000円
---	---	--	--	---	--	---	---

● このパンフレットについてのお問い合わせはこちらをお願いします。

釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課 教育支援担当

〒085-0016 釧路市錦町2-4 釧路フィッシャーマンズワーフMOO4階

電話：0154-23-5189 ファックス：0154-25-5999

e-mail：kyo-kyouikushien@city.kushiro.lg.jp

● コミュニティ・スクールの情報については、釧路市のホームページ（コミュニティ・スクールについて）をご覧ください。

釧路市 コミスク



釧路市 HP の
コミスクのページ
QRコード

※ 本資料は、文部科学省発行の「コミュニティ・スクール パンフレット」の内容を一部引用しています。

平成28年度作成

釧路市版



コミュニティ・スクール

～地域とともにある学校づくりの推進～



＝釧路市教育の基本理念＝

釧路の風土で生まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり

＝釧路市教育目標＝

- ふるさと釧路を愛し 活力あるまちに奉仕する人づくり
- 伝統と文化を大切にし 主体的に学びつづける人づくり
- 進んで人とかわり 豊かな心をはぐくむ人づくり
- 自然に親しみ 健康でたくましく生きる人づくり

釧路市教育委員会